

## 地域の経済動向（令和4年7～9月期） 《オホーツク地域》

### 1 経済動向に係る企業等の声（7～9月期）

#### 【建設業】

- ・公共工事量が減少しており見通しがたたず、人や設備に投資しにくい環境。（一般土木建築工事業）
- ・中国ロックダウンの影響を受けて在庫がほぼ無い状況。（内装工事業）

#### 【製造業】

- ・原材料価格は高騰しているが、在庫で対応。物流費の値上がりについても、頻繁に製品を流通させていないので、影響は少ない。（家具製造業）
- ・原材料価格の高騰に伴う値上げは行わず、内容量を1割程度減量した。海外向けの販売が思うように進まず円安の好機を活かせず、もどかしい。（食品製造・卸業）
- ・北のハイグレード食品に応募。これを契機に販路拡大につなげたい。（乳製品製造業）
- ・既存商品のPRや高付加価値化により、販路拡大を見込んでいる。（乳製品製造業）

#### 【卸売・小売業】

- ・仕入資材の高騰が続いているが、顧客にはご理解をいただいているものの、買い控えが多少増えてきている。（建築資材卸売業）

#### 【運輸業】

- ・原油価格が高騰しているが、価格転嫁ができず厳しい状況。（運輸業）







#### 【サービス業】

- ・今年の連休やお盆期間は行動制限がなく、客足は若干回復傾向。（飲食店）
- ・パートやアルバイトが足りず、求人を出しているが全く応募がない。最盛期に機会ロスが生じかねず、困っている。（飲食店）
- ・小麦粉や野菜、海産物等の食材が値上がりし、特に食用油は昨年と比べ2倍近い値上がり。複数業者と取引しなるべく安く仕入れ、価格転嫁せずに努力。飲食業は10円の差が客足に響くため、価格転嫁のタイミングが難しく、客足が回復しない限り経営は厳しい。（飲食店）
- ・一時期、コロナ禍により客足も減少し、経営が厳しい状態が続いていたが、今年度の連休やお盆シーズンは行動制限もなかったため、コロナ前ほどではないが客足は若干回復傾向。（飲食サービス業）
- ・レジャー施設を運営しており、女満別空港から知床行きツアーバスの立ち寄りが中心であったが、コロナ禍でツアーバスがほとんどなくなり、道内外の個人客が中心となっている状況。入場者数は低迷。また、ここ最近の大雨の影響により、園内に整備している花畑の花や葉が落ちてしまい例年より早めに閉園することとなった。そのほか、園内に花畑を整備しているが、球根等の仕入価格が上昇しており、経営に影響が出ている。（レジャー産業）

#### 【関係機関・団体】

- ・海外のロックダウンの影響から、北海道内のクロスの在庫がほぼ無い状況。東日本大震災前に北海道の物流拠点を廃止、仙台に集約したあとに罹災し、それ以降、再び小樽に物流拠点を置いた矢先であり大変厳しい状況。（組合）
- ・ウッドショックから、地域の木材加工業者が打撃を受けており、一部、材料を木から紙に変更するなどして対応しているが、紙加工は手間がかからず余剰人員が発生するなど、更なる経営環境の悪化に繋がっている。（商工会議所）

































## 2 道内金融機関から見た地域景況感 (7～9月期)

①	②	③	④	⑤	⑥	⑦
非常に好調	好調	やや好調	普通	やや低調	低調	非常に低調
						

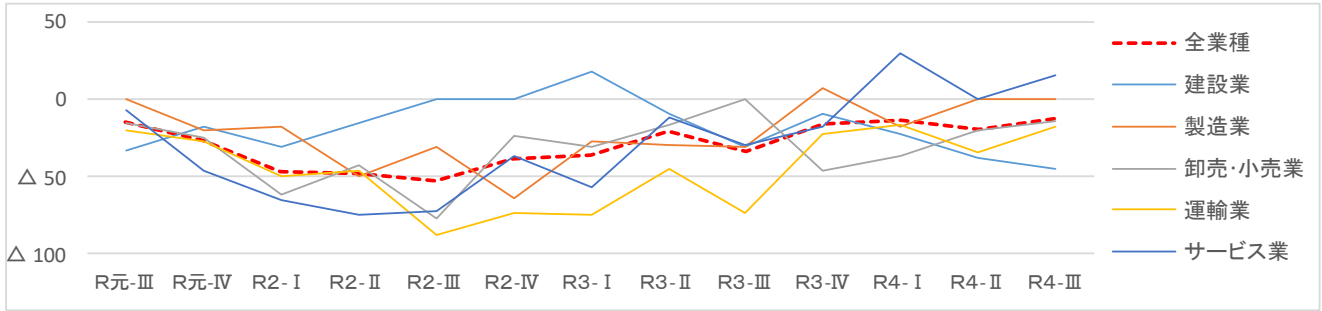
## 【直近の景況感】

	現在の景況感				次期見通し	
	総合	生産動向	消費動向	判断理由	方向感	判断理由
網走信用金庫				当金庫で行った業況調査の結果、全業種で業況判断DIが前回調査より改善が見られないことから、景況感についてはそれぞれ前回と同様の、総合「低調」、生産動向「やや低調」、消費動向「低調」と判断した。		次期の景況見通しについて、全業種でDIがマイナスであり、「下降傾向」と判断した。
遠軽信用金庫				生産動向の景況感については、前年同期と比較すると、製造業以外の業種で収益が減少し、厳しい状況が続いていることから、「やや低調」(前回調査時: やや低調)と判断した。消費動向の景況感については、前回調査時と比較し、サービス業・不動産業で業況判断DIが悪化したものの、製造業の業況判断DIが大幅に改善する等、その他の業種で改善傾向にあることから、「普通」(前回調査時: やや低調)と判断した。消費動向に改善が見られたものの、生産動向については厳しい状況が続いており、新型コロナウイルスや物価高騰等の影響により依然として厳しい状況が続いていることから、総合的な景況感は、前回調査時同様の「やや低調」と判断した。		次期の景況見通しについては、新型コロナウイルスや物価高騰等の影響により、多くの企業が先行き不透明で、業況の回復に時間を要すると考えられることから、「変わらない」と判断した。
北見信用金庫 (北見地区)				当金庫の景気動向調査によると、前年同期と比較した売上DIは1となり、収益DIは△18となった。前回調査時(4-6月期)から売上DIは14ポイント、収益DIも7ポイント改善した。景況感は回復しているが、依然としてDIは低水準であることから、「やや低調」とした。		当金庫の景気動向調査によると、次期の見通しでは、売上DI、収益DIともに悪化する見通しとなっている。
北見信用金庫 (紋別地区)				基幹産業である漁業、中でも主力であるホタテ漁が最盛期を迎えていることから、生産活動は「やや好調」とした。もんべつ港まつりを始め各種イベント事が一部復活しているものの、新型コロナウイルスの影響が全面的に解禁された訳ではないことから消費動向は「やや低調」、総合的に「普通」とした。		水産加工会社の繁忙期であり、各魚種の水揚げ状況に景況は大きく左右される中、この時期の主力である秋サケ漁については前年を下回る予想。建設関連について公営住宅等の公共工事が本格稼働しており、全体として「変わらない」と判断した。

【景況感の推移】

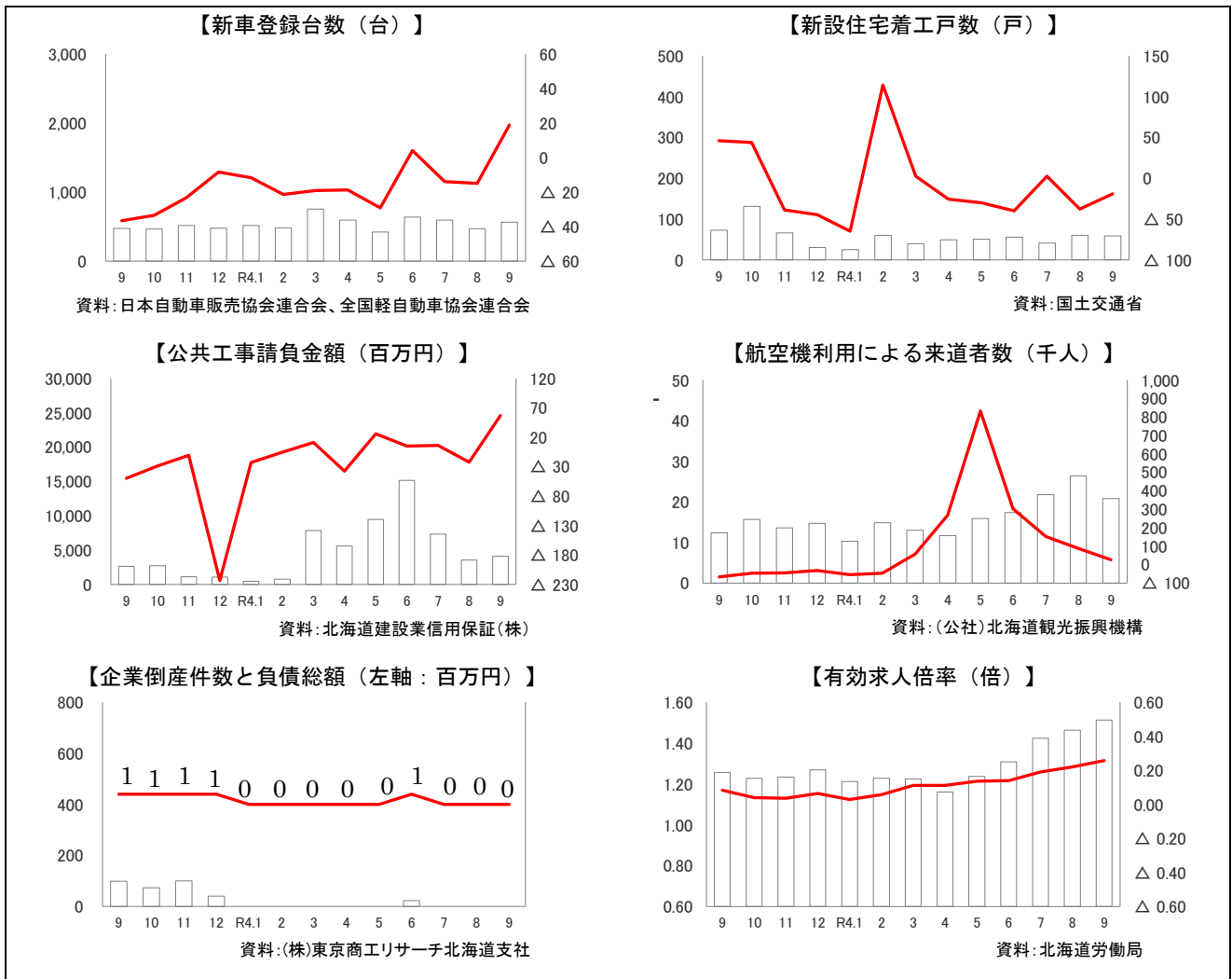
	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III
網走信用金庫								
遠軽信用金庫								
北見信用金庫 (北見地区)								
北見信用金庫 (紋別地区)								

### 3 業種別の業況感BSI (企業経営者意識調査)



	R元-III	R元-IV	R2-I	R2-II	R2-III	R2-IV	R3-I	R3-II	R3-III	R3-IV	R4-I	R4-II	R4-III
全業種	△ 15	△ 27	△ 46	△ 48	△ 53	△ 38	△ 36	△ 21	△ 33	△ 16	△ 13	△ 19	△ 12
建設業	△ 33	△ 18	△ 31	△ 15	0	0	18	△ 9	△ 30	△ 9	△ 22	△ 38	△ 45
製造業	0	△ 20	△ 17	△ 50	△ 30	△ 64	△ 27	△ 29	△ 30	8	△ 18	0	0
卸売・小売業	△ 15	△ 25	△ 62	△ 43	△ 77	△ 23	△ 31	△ 16	0	△ 46	△ 36	△ 20	△ 14
運輸業	△ 20	△ 27	△ 50	△ 46	△ 88	△ 73	△ 75	△ 45	△ 73	△ 22	△ 16	△ 34	△ 18
サービス業	△ 7	△ 46	△ 65	△ 74	△ 72	△ 36	△ 57	△ 11	△ 29	△ 18	30	0	16

### 4 各種経済指標



(右軸: 来道者数のみ前々年同月比、その他は前年同月比(差): %)